

米国ではトランプ大統領による新政権が発足し新たな改革を行っている中で、過激な発言から多くの物議を醸しています。その大国のリーダーは、自身の政策を非常に強硬に推し進めていく姿勢であります。

新しいことを起こそうとすると、様々な意見が飛び交い話し合いが始まります。それぞれに違う考えがありますが、リーダーとはその意見をまとめ、仲間に力を貸してもらいながら共に勤しみ、そして成功へ導く者ではないかと私は考えます。そのようなコーディネーター役となり、この1年間を挑んでまいります。

さて、我々三沢市商工会青年部は、高い団結力・企画力・行動力を備える仲間であると自負し、地域の先兵としてこれまで三沢市の活性化のために努めてまいりました。その活動も来年度で50周年の節目を迎えます。諸先輩方が築いてこられた歴史・伝統・志をしっかりと受け止め、次世代へ継承していくのが今の我々世代の役目であり、その上で現代社会の課題に沿った地域振興の一翼を担う取り組みをしていくことが肝心です。これらを踏まえ、今年度は次の3つの柱となる事業を展開してまいります。

まず、1つ目は「国際交流でふれあいのまちづくり」です。三沢市には米軍基地があることで、幼少期から日常的に米国人を目にしますが、言葉や文化の違いからか交流は一部の人たちのみに限られているように感じます。そこで、本市の基本理念「人とまち みんなで創る 国際文化都市」に沿い、多くの市民と共に三沢の特性を生かした国際交流による地域活性化を図りたいと考えております。例として「アメリカンデー」では、言葉は通じなくとも共通のルールをもって参加することで相手との距離も縮まりやすくなります。同様に「スポーツ」という万国共通のコミュニケーションツールを活用すれば、それが親しくなれるための一歩となるのではないのでしょうか。このことから、様々なスポーツを通じながら今年度の新たな取り組みとして国際交流の機会を創出してまいります。

2つ目は「地域貢献で笑顔のまちづくり」です。近年継続してまいりました「カップリングパーティー」を今年度も開催し、これまでの経験を活かしながら、市内外からの参加者の多くの出会いをお手伝いいたします。結婚された暁には三沢市に定住してもらえるよう、「魅力溢れる三沢」を伝えるPRも兼ねたイベントにいたします。同様に「あなたの優しさ届けます事業」も継続し、市民の皆様からお預かりした寄付と願いを、地域の未来を担う子供たちへプレゼントに託して贈り、心温まるイベントにしたいと考えております。

また、恒例の一大事業である「みさわ七夕まつり」では、他地域とは異なった特色ある「三沢らしいお祭り」の充実を図り、ご来場くださった方々が「本当に来てよかった」と満足するイベント運営を目指します。

3つ目は「情報発信で青年部活動をPR」です。WEBサイトやSNSなど、インターネットを通じて当青年部の活動を知ってもらい、共感してくださった方々から我々と同じ志の輪が広がるよう、またこれをきっかけとして部員拡大に繋がられるよう、広く且つ積極的に情報を発信してまいります。

我々は異業種の集まりであり分野は違いますが、一人ひとりが事業所の後継者として「まちの活性化」という同じ目的を目指し、互いに切磋琢磨することで、相乗的に個人の資質向上へと繋がります。

私は今年度のスローガンを「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と掲げました。これは小説「三銃士」にある言葉ですが、現在では「チームスポーツの精神」を表すものとして有名です。我が青年部もチームであり、多様な事業を成功させるにはチームプレイが大事であるからこそ、この言葉を選びました。個の力では動かせなくとも、結束した大きな力であれば何事も成し遂げることができると信じております。

今年度を来る50周年に向けて士気を高める重要な1年と位置付け、より一層組織力を強化し、精一杯努めてまいり所存です。何卒ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。